

えがお 愛顔のえひめ

愛媛県民だより
愛と笑顔あふれる愛媛を目指して!

編集/愛媛県企画情報部広報広聴課
〒790-8570 愛媛県松山市一番町四丁目4番地2 TEL:089-912-2241

2月号 February

第175号
2011年2月1日発行
毎月1日発行

ホームページでもご覧になれます
http://www.pref.ehime.jp/

県のメールマガジン
Ehimail (エヒメール)
毎月2回(第2・4金曜日)
※登録は県ホームページトップ画面から。
毎月、県産品が当たる読者プレゼントあり!!

テレビ【南海放送】
「愛!愛!!えひめ」
毎週日曜日午後9:54~10:00

ラジオ
【南海放送ラジオ】
週刊「愛顔のえひめ」毎週土曜日午前9:20~9:30
【FM愛媛】
県政FM情報 毎週月~金曜日午前11:54~11:55

えがお 愛顔で暮らせる 県土づくり えひめの 土木事業!

県民のみなさんの安全・安心の確保や産業振興のため、河川や道路などの整備を進めています。 土木管理課 089-912-2640

暮らしを守る

台風などの災害から、みなさんの生命や財産を守るため、砂防ダムなどの防災施設を整備しています。

大規模な災害が発生したときの対応は?
県と(社)愛媛県建設業協会などが締結している「大規模災害時における応急対策業務に関する協定」に基づき、直ちに復旧作業を行う体制を整えています。

技術企画室 兵頭 伸幸さん

▲下流の民家74戸を守る砂防ダム/
(松山市高野町)

今年度の災害発生件数 **71件**

大規模な災害は発生していませんが、大雨によるがけ崩れなど、県内で71件(※)もの被害が発生しています。災害発生時は地域の建設業者の協力のもと、直ちに復旧作業を行っています。
※平成22年度における道路・河川等の公共施設の被害件数(H23.1.14現在)

▲崩れた土砂を撤去する重機(H22.7.10 鬼北町父野川下)

暮らしを育む

都市部の再生に向け、快適な道路環境を整備しています。

都市整備課 吉村 真理子さん

▲新しい道ができて、便利で暮らしやすいまちに(松山市道後緑台)

▲道が広がり、まちなかが快適な空間に(松山市東一町)

暮らしを潤す

ゆとりと安らぎを
実感できる生活空間をつくるため、公園の整備や自然環境に配慮した工事を進めています。

河川課 黒田 貴大さん

▲自然を生かした川づくり(広見川、松野町)

暮らしを支える

人やモノの交流を活発にして産業の振興を図るため、幹線道路を整備しています。

2月6日開通 **生名橋** (上島町)

道路建設課 西村 修平さん

▲生名橋(H22.12撮影)

地域活性化に大いに期待しています!
弓削大橋に続く生名橋の開通で、町内の3島が結ばれることになり、夢のようです。不便だった島間交流が促進され、合併後の町の一体化や観光振興など、さまざまな効果を期待しています。残る岩城橋の着工・完成に向け、夢が膨らみますね。
上島町商工会 会長 富本 隆男さん

コストも削減しています!
生名橋では、途中に待避所を設ける「1.5車線の整備手法」を採用しました。これにより、全線を2車線で整備するよりも大幅にコストと工期を削減することができました。

青龍橋 (新居浜市)

地域バスの運行がより安全で便利に!
地域バス「はな車」は、別子山地区と新居浜市中心部の間を1日2回運行しています。この区間の旧道は、急カーブや狭いトンネルが続く離合や大型車の通行が困難でしたが、「青龍橋」の完成で毎日の通行がとても安全で便利になりました。

別子山地域バス「はな車」 三浦健次さん

▼急カーブや狭いトンネルが続く旧道

▲ループ橋として整備された青龍橋(H22.4開通)

いざという時に備えて 建設業者も取り組んでいます!

建設産業は、地域の経済や雇用を支えるだけでなく、災害発生時には応急対策を行うなど、重要な役割を担っています。そのため、県内の建設業者は、大規模災害発生時に迅速な応急対策ができるよう「事業継続計画(BCP)」の策定に積極的に取り組んでいます。

県内建設業 23社が策定した「事業継続計画(BCP)」が、認定済(H23.1.14現在)

建設業の事業継続計画(BCP:Business Continuity Plan)とは?
大規模災害時に自らも被災することを想定し、迅速に応急対策に取り組むための計画です。

▲BCP策定に向けた講習を受ける建設業者(写真提供/愛媛大学)

▲建設業者が導入したBCP災害対策車と機材

広告

広告